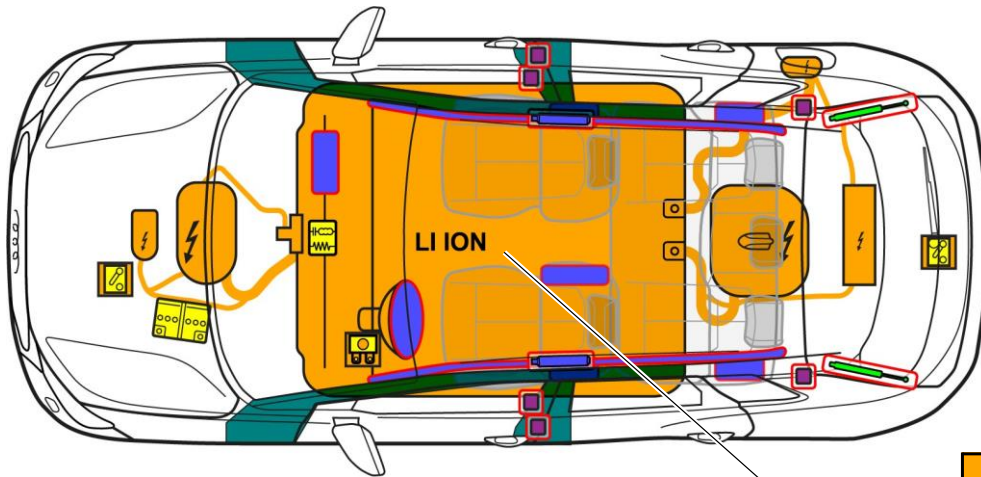




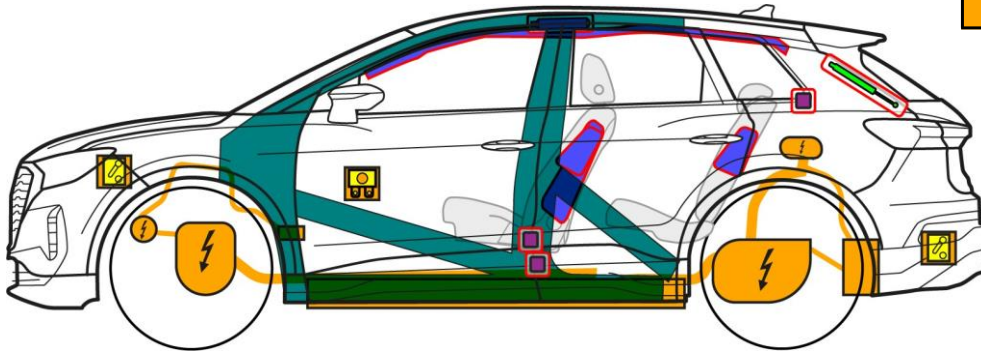
Audi Q4 e-tron



SUV および Sportback (2021) 注: EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある



400V
リチウムイオン



注: 図は、最大限の装備を示す。


	エアバッグ		スタード ガスインフレーター		シートベルトプリテンショナー		SRS コントロールユニット		アクティブ歩行者プロテクションシステム
	オートマチックロールオーバープロテクションシステム		ガストラット/プレテンションスプリング		ボディ補強		特に注意が必要な箇所		
	低電圧バッテリー		低電圧コンデンサー		燃料タンク		ガスタンク		セーフティバルブ
	高電圧バッテリー		高電圧ケーブル		高電圧システム遮断ポイント		ヒューズホルダー、高電圧システム遮断ポイント		高電圧コンデンサー
	高電圧システム遮断ポイント		ヒューズホルダー、高電圧システム遮断ポイント(低電圧箇所)		高電圧部品				



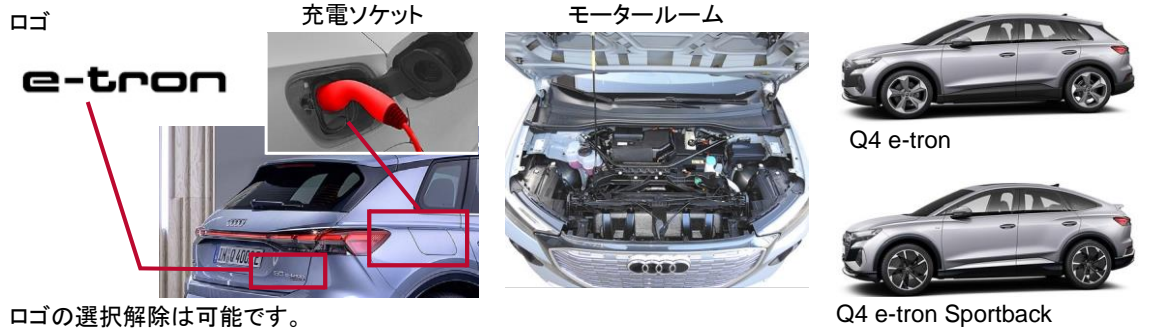
Audi Q4 e-tron

SUV および Sportback (2021) 注: EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある

1. 車両の識別

 エレクトロ モーターは作動音がほとんどしません。エレクトロドライブが"オフ"または"走行可能状態"のどちらになっているかは、ダッシュ パネル インサート(パワーメーター)左側のインジケーターで確認することができます。

ロゴ 充電ソケット モータールーム



ロゴの選択解除は可能です。


Q4 e-tron

Q4 e-tron Sportback

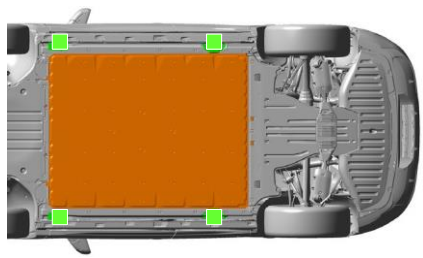
2. 車両の固定化/安定化/リフトポイント

車両を固定する

ギヤを P ポジションに入れる。



リフトポイント



適切なリフトポイント 高電圧バッテリー

3. 直接的な危険の回避/安全規則

イグニッションスイッチをオフにする(パワーメーターの表示"OFF")

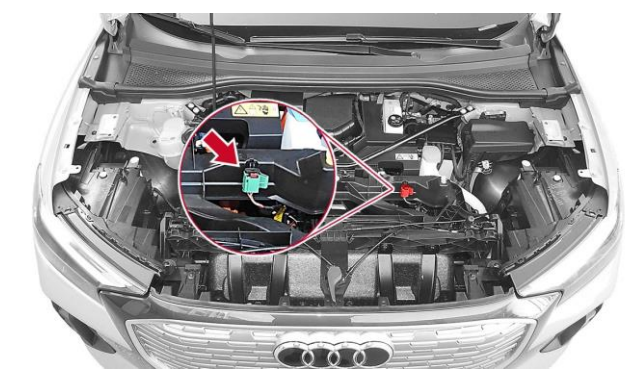


ブレーキペダルを踏み込まずに START STOP ボタンを押します。

 リモートコントロール キーの代わりにキーカードまたはスマートフォン アプリを使用することもできます。

高電圧システムの遮断

選択肢 1: モータールーム内の遮断ポイント







① 赤色のタブを引き出す

② 黒色のコネクタを引き出す

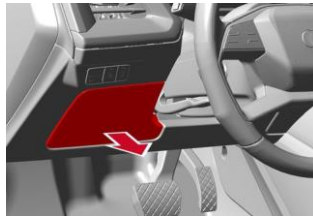


Audi Q4 e-tron

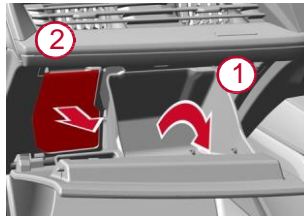
SUV および Sportback (2021) 注:EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある



選択肢 2: 車室内のヒューズ



左ハンドル車: ステアリングコラム横のカバーを取り外す。

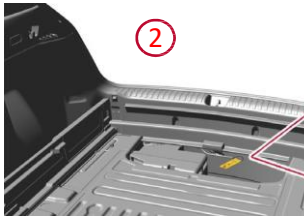
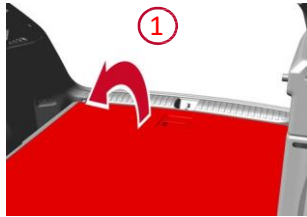


右ハンドル車: グローブボックス内のカバーを取り外す。

ヒューズを取り外す



選択肢 3: ラゲージルーム内リヤエンドパネルの遮断ポイントフロアパネルを取り外す。黄色ラベルの箇所にてケーブルを切り離す。



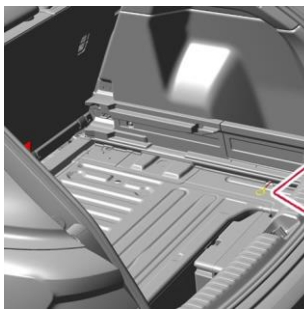
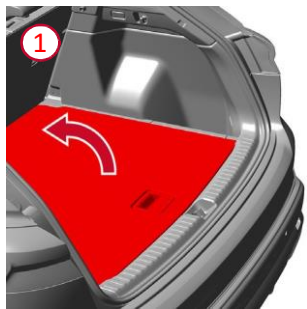
高電圧部品および高電圧バッテリーを決して触ったり、切断したり、開放したりしないようにして下さい。必ず適切な保護具を着用して下さい。

エアバッグが作動する事故が発生すると、高電圧システムは自動的に遮断されます。高電圧システムは、遮断されてから約 20 秒後に、電源が切断された状態になります。

リチウムイオンバッテリー(モータールーム内)の遮断

マイナス側端子を外す(取付け位置については 1 ページの図を参照してください)

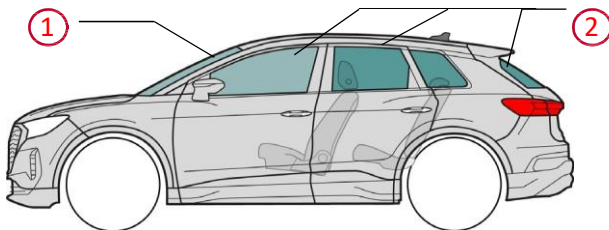
充電ステーションからの遮断(ラゲージルーム右側のエマージェンシーヒューズ)フロアパネルを取り外す。黄色のループを引く。



充電コネクタを外す。



4. 乗員へのアクセス



ガラスのタイプ:

- ① 複合材安全ガラス
- ② 単板安全ガラス

5. 蓄積エネルギー/液体/気体/固体



400V



Audi Q4 e-tron

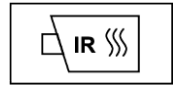
SUV および Sportback (2021) 注:EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある



12V



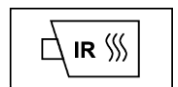
バッテリークーリングシステムからクーラントが流出すると、高電圧バッテリー内で熱反応が起こる危険性があります。高電圧バッテリーの温度をモニタリングして下さい。



6. 車両火災



リチウムイオンバッテリーには自然発火する危険性があります。リチウムイオンバッテリーを損傷させたり適切に使用しなかったりすると、後に発火する危険性もあります。さらに、鎮火後に再度発火する危険性もあります。必ず適切な保護具を着用して下さい。



7. 車両の水没

車両を水から引き上げた後、高電圧システムを遮断し(3項を参照)、車両から水を排出して下さい。必ず適切な保護具を着用して下さい。

8. 牽引/輸送/保管



リチウムイオンバッテリーには自然発火する危険性や鎮火後に再度発火する危険性があります。



車両が事故に巻き込まれた場合、または高電圧バッテリーが損傷したり不安定になったりした場合: 高電圧システムを遮断して下さい(3項を参照)。建物や他の車両との間に安全な距離(5m以上、隔離エリア)を確保して駐車して下さい。



事故に巻き込まれた車両の駆動輪を接地させて牽引しないようにして下さい。



9. 重要な追加情報

10. ピクトグラムの説明

可燃性	爆発性	腐食性、皮膚刺激性	健康有害性	環境有害性	EV	高電圧警告	一般警告
	LI ION リチウムイオンバッテリー						
大量の水を使用しての消火		危険電圧	ボンネットのロック解除	ラゲージルームのロック解除	赤外線サーモグラフィカメラの使用	スマートキーの作動範囲外への移動	